

くろつち便り

今月の内容

9条の会 新春講演会(2/20) / かがしまアクション / Series学校現場から④ / 米軍無人機配備反対 / 歩む会会費を / 野草折々49(イブ 朴リフト) / 護憲意見広告への賛同を / ごてれつの独り言⑩ / 金曜集会(2/4) / **今回の集会は(3/4金)/17:00~**



↑会報QRコード

9条の会おおすみ 新春講演会 2月20日 鹿屋東地区学習センター 午後1時30分~

馬毛島の軍事基地化を許さない



能があれば俳句の一つでもひねり出した気分ですが、人生の最後をこんな窮屈な中では過ごしたくない、一刻も早くくろつちの皆さんと飲みかた語りたいたいの思いが増すばかりの毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか。

こんな中で、9条の会おおすみでは馬毛島から講師（三宅公人さん）をお招きして、怒りの集会を持ちます。

馬毛島は無人島としては日本で2番目に大き

な島だとのこと。この島をどんな手段で手に入れたのかわからないその所有者に160億円も国民の税金から支払い、さらに米軍空母艦載機陸上離着率訓練（FCLP）移転と自衛隊基地整備の施設整備費として3183億円の予算をつけて、地元には十分な説明もないうまく勝手に工事を始めようとしています。そんな国に対して、先頭に立ち反対運動



をしている団体の代表・指導者、連日の闘いでご多忙中ですが、三宅公人さんにおいていただいて講演会を持つことにしています。

連日新聞に出っていますが、国は余りに強引強圧的です。こんなやり方が認められると日本国中同じやり方で何でもありの国になります。種子島の問題ではありません。日本全体にかかわる問題、大隅半島にも重大影響ある問題です。

コロナ禍の今後の状況によっては延期もありですが、ぜひご参加ください。

9条の会新春講演会
馬毛島の軍事基地化を許さない。
講師 三宅公人さん
(馬毛島への米軍施設に反対する市民・団体連絡会 会長)
日時 2月20日(日) 午後1時30分
会場 鹿屋東地区学習センター
連絡先 TEL44-9687松下

シリーズ その④ 再任用に学校現場から求められること Part.Ⅳ



3学期に入ると、いよいよ来年度の教育課程編成に向けて何やら管理職からの注文も多くなります。日課表や運動会の日程、そして土曜授業に関する交渉を済ませると、「ここからはオフレコで・・・」となると、管理職の本音も少しだけ見えます。（そんなに無理をせんでもいいのに・・・と思う。）

大黒小（複式学級と特別支援学級）は4人で授業を分担することで、何とか週2時間程度の教材研究の時間があります。ところが、来年度は特別支援学級がなくなるので、1人減でスタートすることになります。そうすると、どうしても教材研究のた

めの空き時間がとれなくなる。

小学校でも「業務改善」のため教科制が導入されようとしているのに、大黒小の来年度は益々多忙化が予想されます。「業務改善どころではない。空き時間が設定できるかどうかは管理職にかかっている。

意味は分かりますよね。」と確認すると、小さな声で「はい。」という返事が返ってきました。

昨年、2学期後半に体育の授業を参観し、その後授業研究と小体連の総会がありました。（若くはないけどこれでも大黒小の体育担当者なのです。）

6グループでのワークショップ形式で授業研究を済ませると、小体連総会で意外な提案がありました。「来年度から、各ブロック毎の学校持ち回りで体育の研



究授業をやります。早速来年度の当番校を決めてください。」といった内容でした。

しばらく沈黙の時間があり当番校のローテーションを決めようとしたので、「ちょっと待て。それはどこで決まったことか。」と質問しました。それでも明確な答えは返ってこないで「ここにいる先生方に意見を聞いたらどうですか。ちなみに私は反対です。」と言うと、各グループごとで討議し意見をまとめて発表することになりました。

結果は、どのグループも反対でした。総会終了後「先生の一言で救われました。よかった。」と言われたけど、「そう思っているのなら反対の発言をせんくて、フォローはすつで。」とアドバイスをしました。

「業務改善」の意識改革はまだ未熟かな？

(大黒小 関下俊郎)

九条の会 南日本新聞への「意見広告」へのお願い



松下徳二
早くも今年度南日本新聞への意見広告取り組みが始まりました。鹿児島県内の各地9条の会を代表して「鹿児島九条の会」からご賛同お願いが届いています。

安倍・菅政権よりはましかと密かに期待していたのに、さすが自民党！発足してすぐからこの岸田内閣も「憲法改悪」、「緊急事態法」などとんでもない法制定を大声で叫び始めています。とんでもないことです。あの戦争をほんの少しですが体験した者として絶対に

許せない法成立です。
今、「憲法を変えよ」と叫ぶ奴らはどんな者共か。あの戦争を始めた者共やその一族、戦中戦後に姑息に立ち回り巨利を得た者共、あるいはそれらにあやかっただけの者共です。庶民はどうだったか。突然の爆撃で家も人も焼かれ、何もかも失った国民に国はどんな救いの手をさしのべたか。私たち庶民はからいもカボチャ等のツルも食べ、バッタもフスマも食べました。無残に死んだ兵士たちへの恩給はお偉いさんらと

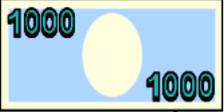
憲法9条を守り
25条を生かした
社会を

同じ金額でしたか？
こんなことを並べたらきりなく思いついて脳みそが爆発しそうですね。「緊急事態法」では「人権」という言葉など完全に消えてしまいます。コロナ禍の緊急事態法とは全く違うものです。
大事な年です。一人千円は高いですが、これから続く子や孫、若者を守り育てるためにも、戦争への目論見を断ち切るためにも、ぜひぜひご賛同ください。

止めよう！ 改憲発議

松下にお届け下さればまとめて鹿児島にお届けします。

電話 44-9687
(携帯09019237306)



給水塔

歩む会 会費納入を！

何回もお願いして誠にすみません、「共に歩む会」の会費（千円）納入を再度お願いします。昨年の分は必要ありません。

今年度分をぜひお願いします。会報39号に用紙が挟まれていた方々です。



3・13かごしまアクション

あの日がやってきました。今年の集会は3月13日（日）です。川内原発の20年延長を阻止し、廃炉に持ち込むため、「ダメ！20年運転延長」

ストップ川内原発！ 3.13かごしまアクション
日時 2022年3月13日（日）13:30~15:30 雨天決行
場所 天文館公園 13:30~14:30 さよなら原発集会
14:30~15:30 NO NUKES スタンディング



天狗の被っている兜

野草折々-49-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

イブキトリカブト (キンポウゲ科)



伊吹山山頂に群生からだ全体に猛毒を持つ有毒植物で死に至らしめることもある。
和名「トリカブト」は古代の衣装「鳥兜」に似ていることからきている。

米軍無人機配備反対

ご承知の通り、1月24日、鹿屋基地への米軍無人機の配備計画が明らかになりました。

27日、九州防衛局から鹿屋市に説明があるという情報が、当日朝に飛び込み、急遽、有志が市役所玄関前に集まって、反対集会を行うことになりました。

2時過ぎに市役所に行くと、県の護憲フォーラムからも、下馬場代表をはじめ数名が駆けつけてきていました。

下馬場代表のあいさつ (部分)



「前幕僚長は、有事の際は奄美・沖縄は戦場になるといいました。鹿屋に偵察機が来ることによって、もし有事の際は鹿屋基地もまた攻撃の対象になり、鹿屋も戦場になるということです。私たちは断じて許すことは出来ません。」



無人機MQ9全長約11m

また100名を超える米兵が来るとも報じられています。

沖縄、岩国、山口県、広島県でコロナが拡大していますが、これは米軍由来のものだと言われています。それを日本政府は押しとどめることが出来ないわけです。今回は鹿屋でも同じようなことが予想されます。日本政府は残念ながら米軍に対して何も出来ない、そういう関係、日米地位協定のもとにあります。」

真島さんのあいさつ (部分)

「市長は米軍を鹿屋基地に入れる時、議会で約束したこと以外にはさせません、という答弁をしているんです。」

十数年前に、空中給油機の問題が出た時に、米軍がここに駐留するということには反対だ、という

市議会を含めて、みなさんが立ち上



がりました。しかし今回、その米軍駐留が現実になりました。

KC130が来た時に、ついでにオスプレイをこの地に飛来させるだろう、と

いうことを私たちは考えていましたが、実際はKC130空中給油機を口実に、オスプレイをこの鹿屋基地で自由に離着陸をできるようにすることが彼らの目的だったわけです。

そのことがわかった次には何をしたか。無人偵察機と米軍の100人程度駐留です。鹿屋基地に収まりきれない米軍はホテルなどに駐留させる。まさに米国と中国の戦争の前戦地にこの鹿屋基地を考えて、そして隣の馬毛島もしかりです。」



金曜集会

2月4日、立春とは言え、この日の夕刻は特に風が冷たく服を通して寒さが肌を噛むような感じがした。そんな中、金曜集会に上山兄弟の姿があった。頭が下がる思いがした。

街を走る車に反原発や反戦のプラカードをかざし、シュプレヒコール。中には関心を示して見つめてくださる方も何名かいて安堵感を覚えた。



じっくりこちらを見つめる運転手(モザイク)

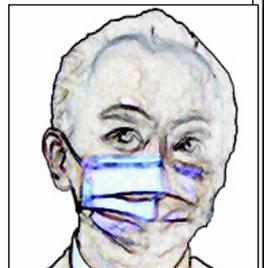
報道によると、九州防衛局と鹿屋市との話し合いは非公開だったようだが、配備の時期や機体数は「検討中」で、「配備は一時的なもの」「期間は今後の調査を踏まえ決まる」、ということらしい。

2019年にKC130の訓練受け入れの際「国は訓練拡大や米軍基地化は考えていない」という協定を鹿屋市と結んでいるが、記者から協定を無視していないかを問われた担当者は「おっしゃる点はよく分かるが、ここで協定についてお答えする準備がない」とか

「責任を持った答えが出来ないので追って回答する」と答えている。

当然一番予想される最大の疑問なのに、準備が出来ていないなどはぐらかしている。どうやって協定と辻褄を合わせようか、今防衛局内で検討している最中かも知れない。

(次頁へ続く)



↑真意を見せない担当官



「・・・いないぞー！」
「中西市長は、ガンバレ！」
「・・・ガンバレ！」
などのシュプレヒコールを行った。しかし

は姿を見せることなく、裏口から庁舎内に入ったようである。



取材中の松下さん

松下さんの話
「馬毛島が非常にもめて

ているが、強引に進めているあのやり方が、鹿屋にも波及してくるだろうなあと考えていた。突然、無人機、しかも百人アメリカ兵が来ると心配だ。」(MBC放送より)

(前頁からの続き) 集会では、「米軍無人機配備、ハンターイ！」
「・・・ハンターイ！」
「鹿屋に米軍はいらないぞー！」

予想していたことだが、防衛局側



市長へ「無人機受入反対」の申入

2月3日、10名ほどで市長へ「米軍無人機部隊駐留受け入れ反対の申し入れ」を提出した。市側は今回も代理であった。9項目に亘る質問を事前に提出して、それについて説明す

るのだが、先月27日の国の提案は明らかに10数年前の協定違反になるのにも関わらず、防衛省に対し無人機配備や部隊駐留を拒否するのかどうか、立場を明確にしなかった。極論すれば防衛省の説明を「しっかり聞きました」ということだけ。
※質問の概要(詳細はHPに掲載)
・地方自治体の立場や考えを具申することの可否。国の説明をどう受け止めたのか。受入は軍事基地化に繋がりが、有事の際に標的にされると危惧するが、市民の安心・安全、福祉の増進と無人機部隊駐留との整合性。



こてれつ ぶつくさ言う人 10 こてれつの独り言

◆怒りのはげ口は？

「またまた灯油の値上げ!」と妻。聞くと18㍓で千八百九十円だったそう。あんまりピンと来ないが...
一昨年は千三百円余りだったと言うから値上げ幅の大きさにびっくり。原油の値上げで、他の関連商品、生鮮食料品までもが軒並み値上げになっている。

そんな中、厚労省は、令和4年



度の公的年金額を0.4%引き下げると発表した。昨年は0.1%の引き下げだったので、2年連続だ。2014年の0.7%に次ぐ引き下げ幅だという。

未だに「マクロ経済スライド」の仕組みは理解できない。公的年金制度を持続可能にするため、年金給付額を抑制する仕組み(大辞泉)らしい。こちらは、物価や賃金が上昇していかないため発動されない(毎日新聞)と言うが、何かおかしい。

物価は高騰しているじゃないか。その上に年金引き下げとは。厚生年金の場合、勤続40年の平均的な家庭で月903円の減だそう。毎年、こういったものが積み重なっていくと先々かなりの額になる。そう考えると腹立たしい。何が「新しい資本主義」

(岸田)だ。この怒りのはげ口をどこに向けよう・・・

◆ならぬ堪忍、するが堪忍

先の役員会で、くろつち会の総会歓迎会は、今年も、昨年・一昨年に続いて見送ることに。

総会とはともかく、歓迎会がないのは寂しい。怒りのはげ口を一つ奪われて残念だが、最近のコロナ感染状況では止む無しだ。とはいえ3年連続ともなると、居た堪れない。この調子だと、



いつになったら出来るのか。「ならぬ堪忍、するが堪忍」というが、忍耐も限度にちかづきつつある。

◆退職者を迎える会も中止？

先日、退職者説明会が県であったそう。その席で下馬場さんが、今度退職予定で高山出身のH先生(現・始良地区小学校)に、「退教協への加入届を書いてね」と言うと、「野間先生に『くろつち会にちゃんと入れよ!』ときつく言われました。書かないと怖いから、書きます。」と笑いながらの返事だったという。

例年の「退職者をはげます会」は開かれそうにないが、知っている人がいたら、くろつち会加入への声かけをお願いします。(文責・樋園)